

生物育成の知財活用モデルの構築

身近な技術の仕組みと知財との
関連モデル

収量や品質を向上させる
ミニトマトの栽培と管理

品種や品種改良について
興味を持たせる

品種改良の仕組みや方法を知る

優良品種が海外に流出している
事例を知る

知財を保護する手段を考える

- ・ 市場にあるトマトの品種について触れる。
- ・ 流通している品種は品種改良等をして、収穫量や品質、また、輸送に耐えるために傷つきにくいなど、様々な特徴を持った品種があることを伝える。
- ・ 栽培の目的にあわせて、ミニトマトの品種を4品種から選択させる。
- ・ 選択する際には、4品種の特徴を調査し、それぞれの栽培目的に合致するものかどうかを考えさせる。
- ・ 地理的表示保護制度、地域団体商標制度について説明する。また、地域団体商標ガイドブックを活用する（特許庁発行）。